

# カラマツハラアカハバチ被害の推移と普及指導活動を通じた情報発信等の取組

十勝総合振興局森林室大樹事務所 専門普及指導員 大河原 雅樹

## 取組の背景

日高地域で発生していたカラマツハラアカハバチによる食葉性被害は、日高山脈を越えて平成19年頃から十勝のカラマツ林でも見られるようになりました。

この被害により、カラマツが枯れることは極めてまれですが、林分全体が茶色く枯れたように見えることから、森林所有者等の不安や誤解の払拭など、適切な森林施業の実施に向けた普及指導活動を行ってきました。



写真-1 食葉被害により茶色に変色した林分

## 取組の内容・成果

### 調査の実施

カラマツハラアカハバチの被害状況調査や予察調査を平成19年から継続して実施し、被害状況の把握と被害の発生予測に努めています。

### 情報提供と普及啓発

市町村や森林所有者等に対し、各調査結果の情報を提供するとともに、カラマツハラアカハバチの生態等について説明し、①食害によりカラマツの成長量は多少低下するが、材質に影響はないこと②樹勢が衰えているため間伐は適期に実施し、環境を著しく変える強度な伐採は行わないなど、二次被害対策について継続的な指導を行っています。

### 研修会等の実施

森林所有者等の林業関係者が参加する各種会議等で情報提供を行うほか、森林室主催の「十勝の森林病虫害に関する講習会」及び「十勝管内森林施業技術研修会」においてカラマツハラアカハバチの発生状況、カラマツヤツバキクイムシへの対応等について指導しています。

### 取組の成果

研修会等の開催やパンフレット配布などと併せ、被害発生の予測情報を森林所有者等へ提供し、カラマツハラアカハバチに対する不安や誤解を払拭し、十勝の主要樹種であるカラマツ資源の保続に向けた普及指導ができました。



写真-2 カラマツハラアカハバチの幼虫

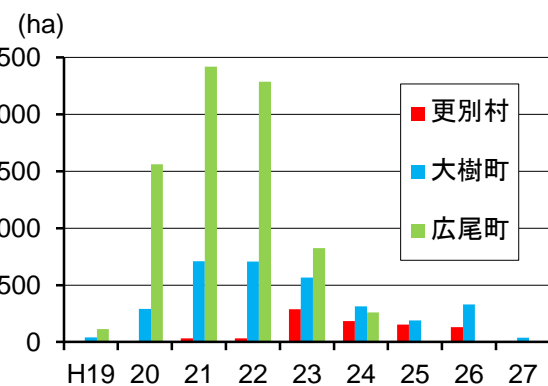


図-1 十勝南部の被害面積の推移

## 今後の展開

被害状況の速やかな把握や市町村・森林所有者等への適切な情報提供に向けて、予察・被害調査を今後も継続して行います。

現在、カラマツハラアカハバチによる被害の中心は十勝北東部へ移動していますが、被害の長期化により樹勢が衰えた林分も見られます。これらの林分については、カラマツヤツバキクイムシなどの穿孔性害虫による二次被害の発生も考えられるため、注意深く観察を継続し、十勝の景観を構成するカラマツ林の保全や資源の保続に向けた普及指導活動を展開します。